用意するもの

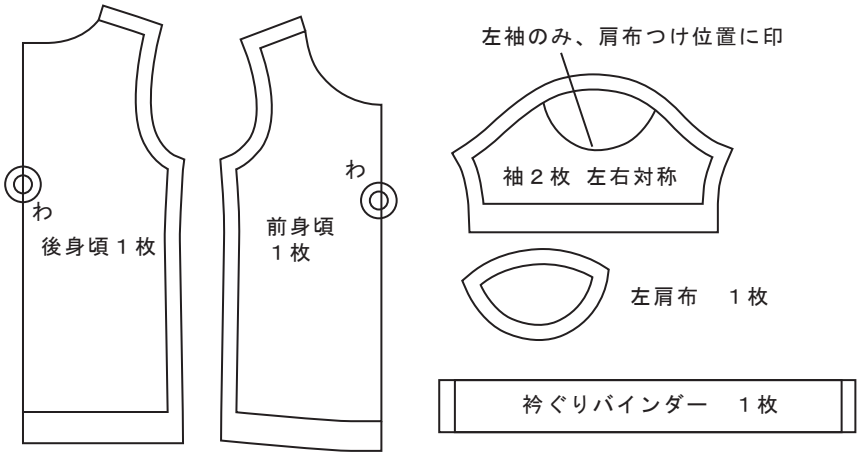
●ニット生地
中肉程度の裏毛や天竺などが合います。
140cm巾　90（0.5m）・100（0.6m）・110（0.6m）・120(0.8m)・130(0.8m)・140(0.9m)・150(1.0m)

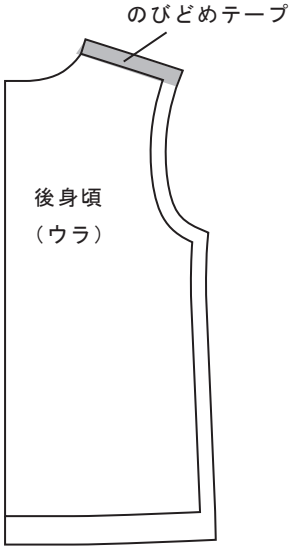
●左肩布に別布

●のびどめテープ
少々

準備

●裁断パーツ５・合計６枚（下図）
●後ろ身頃、肩のウラ面に、のびどめテープを貼っておく（右図）





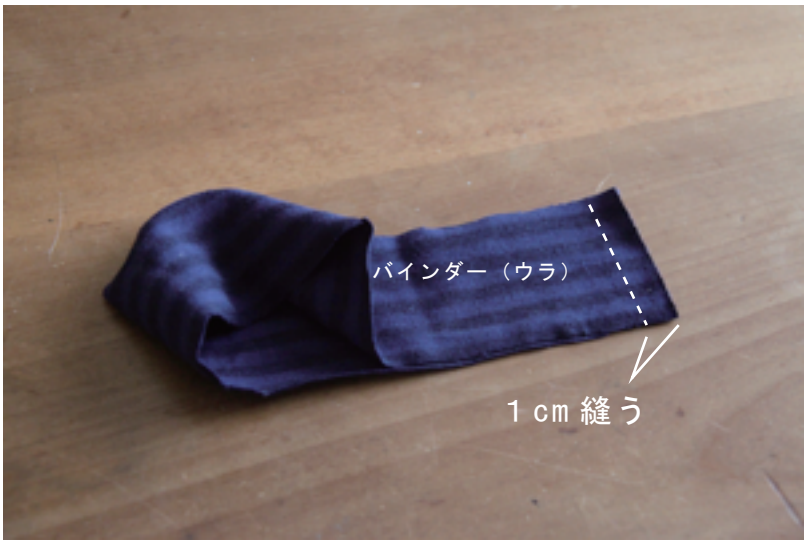
準備

後身頃の肩にのびどめテープを貼り、左袖の肩布つけ位置に印を入れます。

肩縫い

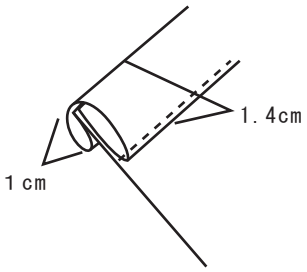
前後の肩を中表に合わせて１cm で縫い合わせます。縫い代は２枚合わせてロック始末し、後身頃側に倒します。

衿ぐり始末



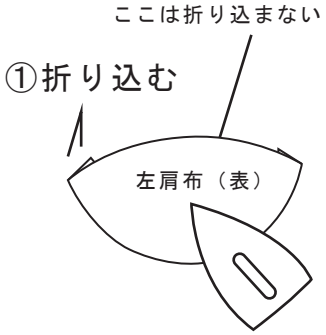
バインダーの端同士を中表にして、１cm で縫い合わせます。縫い代は割ります。

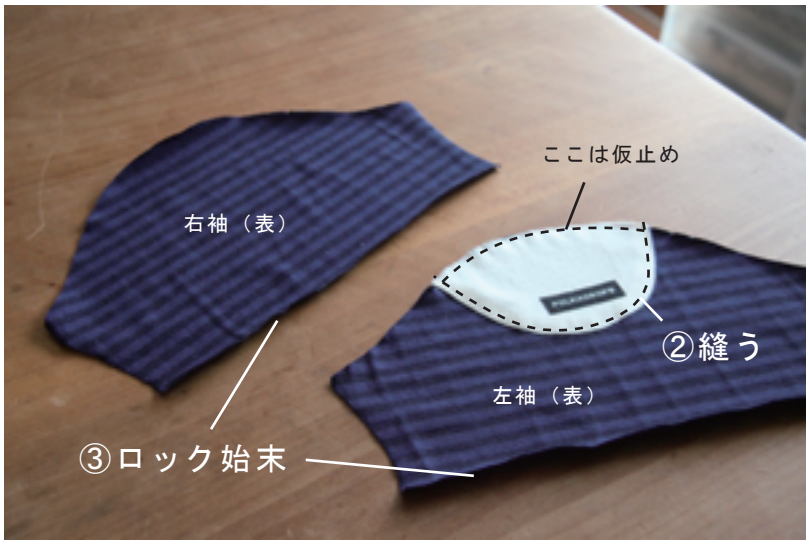
身頃の衿ぐりの「ウラ面」にバインダーを、ウラを上にして乗せ、一周１cm で縫い合わせます。バインダーを伸ばし気味にしながら合い印を合わせて縫います。



バインダーで前身頃の衿ぐりを包むようにして、コバステッチで縫います。

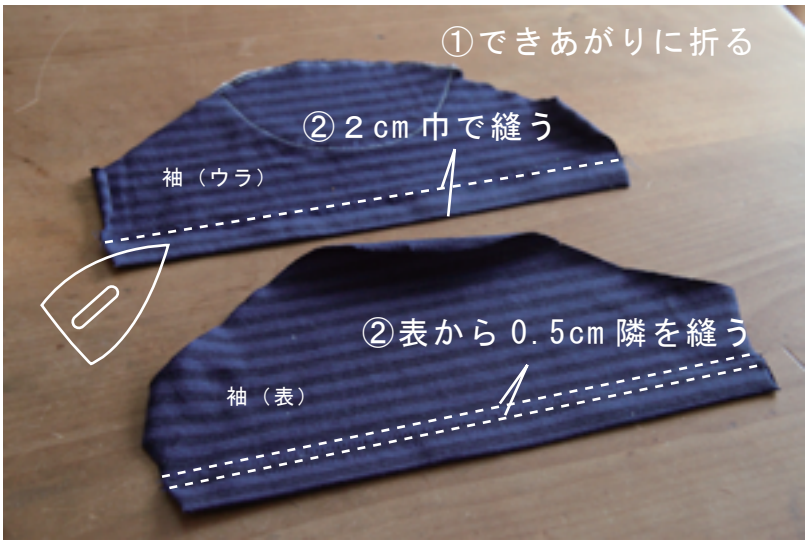
袖つけ





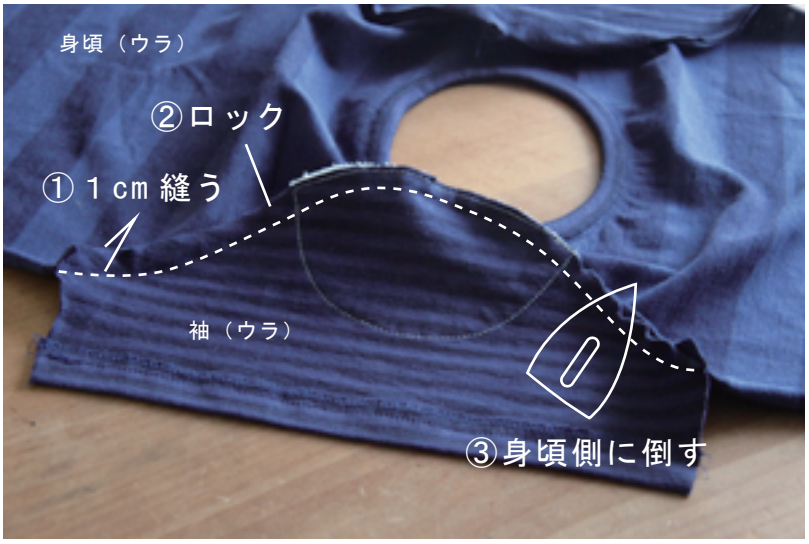
左肩布はできあがりに折りこんで、左袖に乗せ、コバステッチでぐるっと止めつけます。袖口の縫い代は生地の表を上にしてロック始末しておきます。

袖口始末



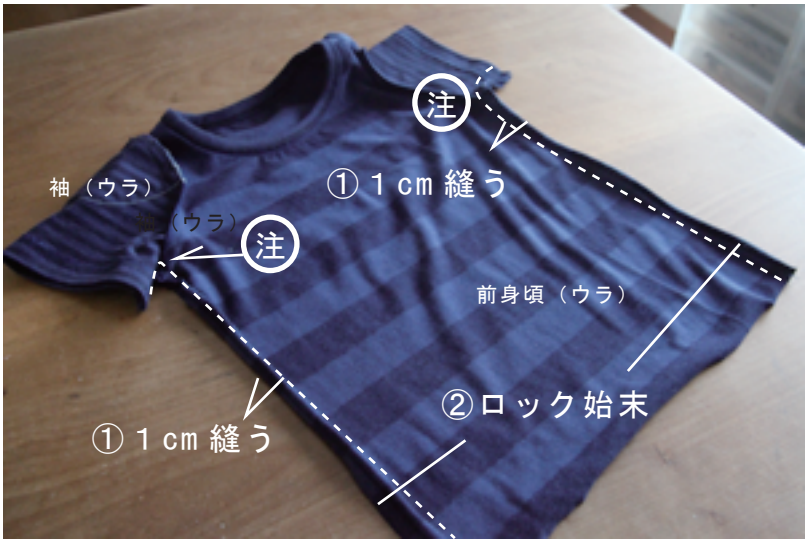
アイロンでできあがりに折り上げ、まず裏側から、縫い代端を、ロックの糸を拾うようにステッチ始末。表に返し、今縫ったステッチの 0.5cm 内側を縫ってWステッチにします。

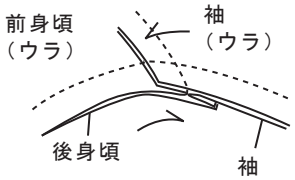
袖つけ



袖と身頃のアームホールを中表に合わせて 1 cm で縫い合わせます。縫い代は袖側を上にしてロック始末し、身頃側に倒します。

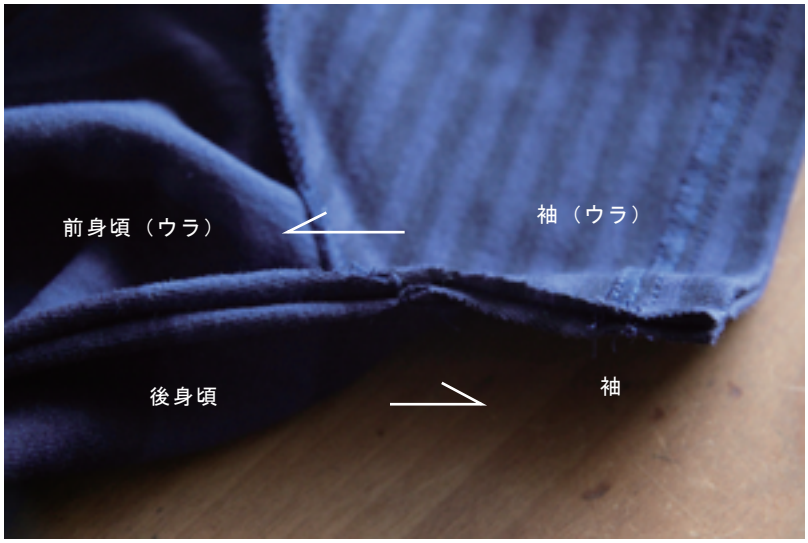
袖下～脇





次のページも
参考に。

袖下～身頃裾までを前後中表に合わせ、 1 cm で縫い合わせます。脇下部分は縫い代を互い違いに倒して縫います。縫い代は前身頃を上にしてロック始末。



注意の部分。縫い代をたがいちがいに倒して、厚みを分散させます。前身頃の縫い代は身頃側に倒し、後ろ身頃側の縫い代は袖側に倒します。

裾始末と仕上げ

縫い代は後ろ側に倒し、袖と同様に、身頃裾を生地の表側からロック始末、できあがりに折り上げて、Wステッチ始末。最後に袖口に止めミシンを入れて完成です。